

ダウンアンペア

県内で広がり

電力会社との契約アンペア数を引き下げる「ダウンアンペア」の動きが、信州で広がっている。何げなく使っていた電化製品の消費電力を意識することで、電気の無駄遣いを減らせるだけでなく、月々の基本料金が下がって、家計も助かる。要領をつかめば、ダウンアンペアは案外、難しくない。寒くなるこれからの季節は、電気こたつや凍結防止帯の出番となり、消費電力が増えがち。「冬の節電」に備えて、わが家のアンペアを点検してみませんか。

(畑谷 史代)

長野市の水上則男さん(71)は9月下旬、契約アンペアを50A(㊦)から40Aに引き下げた。妻と2人暮らし。3年前に家を建て替えるまでは30Aだった。たびたびブレーカーが切れたため、建て替えの際、妻と相談して50Aに。だが、「そんなに使っていないはず」と考え、この夏、冷蔵庫やテレビ、エアコンなどの電力消費状況をリアルタイムで計測。40Aで支障がないことを確かめた。

中学生の頃から電気の仕組みに興味を持ったという水上さん。その知識を生かし、市内のNPO法人で省エネアドバイザーを務めている。依頼のあった家庭に出向き、省エネの診断や助言をする仕事だ。「節電は楽しい知的ゲーム。どこに電気がかかっているか、調べて工夫するのが面白いんです」。松本市の唐沢るつ子さん(76)は、夫を4年前に亡くし、子ども

自宅の契約アンペアを50Aから40Aに下げた水上則男さん。ブレーカーの交換は15分ほどで済んだ。長野市篠ノ井



無駄見直し 節電を楽しく

も独立して一人暮らし。昨年11月、50Aから40Aに下げた。背中を押したのは、東日本震災と福島原発事故だ。市消費者の会で活動し、電力のことを学ぶほどに、脱原発への思いが強まったと言つ。「原発に依存しないためにできることは、まずは自分が使う電気の量を減らすこと」。

40Aに下げたから、ブレーカーが切れないように家電の使い方を意識するようになった。IHクック

キングヒーターは、3口のうち消費電力が一番少ない口で調理している。

ただ、暮らし自体は大きくは変えていない。昨冬も不自由なく過ごせた。唐沢さんはこの11月、さらに30Aに下げつもりだ。

福井県では、ダウンアンペアの輪を地域に広げる取り組みが進んでいる。市民団体「ダウンアンペア作戦コンソーシアムふくい」が、市民に呼びかけて参加家庭を募集。節電のノウハウを共有するための冊子も作った。

代表の古石暁子さん(41)は松本市出身の家の契約アンペアは、15Aだ。月々の電気代は2千円前後という。夫と小学生の長男、長女の4人家族。電子レンジやオーブン、冷蔵庫も使い、「普通の生活をしたい」と古石さんは言つ。ダウンアンペアのポイントは、家の中で一度に使う電流の量をいかに抑えるかだ。

まずは、使っている家電製品それぞれアンペア数を調べる。家電製品は、消費電力がワット(W)で表示されている。IHヒーター

など電圧が異なる器具を除き、通常は100Wを1Aと換算すればいい。

「コンソーシアムふくい」がまとめた、家電の平均的なアンペア数(左上の表)も参考になる。ただし、個々の器具の製造時期や機種によってばらつきがあるので注意したい。

次に、実際の生活の場面で、同時に使うものを洗い出す。熱を発生する家電は一般に消費電力が多い。電子レンジや炊飯器、コーヒーマーカーなどを使う食事の支度の時間帯がカギになる。

例えば、炊飯器やレンジを使っているときはドライヤーを使わないようにするといった工夫で最大値を抑え、ダウンアンペアをした家庭もある。古石さんは「電気の使い方は暮らし方そのもの。電気が数字で見えると、生活を変えていける」と話す。

家電は、使い方の工夫だけでなく、購入する際の選び方も大事、と助言するのは水上さん。「買い替えるときは、価格だけでなく、省エネ性能や消費電力をぜひ確かめてほしい」。

電気器具の平均的なアンペア数

エアコン	暖房 8.6A 冷房 6.6A
テレビ	3A
冷蔵庫 (420ℓ)	1.5A
オーブンレンジ	14.2A
IH炊飯器	12A
掃除機	10A
ドライヤー	10A

「ダウンアンペア作戦コンソーシアムふくい」資料より

中部電力長野支店(長野市)によると、同支店管内(県内)の2011年度のダウンアンペアは6千件で、前年度の2・4倍に増えた。一方、契約アンペアの引き上げは、前年度より3千件少ない1万件だった。

中部電力の一般家庭のプラン「従量電灯B」の場合、基本料金は契約アンペアによって異なり、10A(月273円)から60A(同1638円)までの7段階に分かれている。例えば、契約アンペアを50A(同1

ブレーカー交換は無料

365円)から40A(同1092円)に変更すると、基本料金は月273円下がり、年間で3276円安くなる。

契約アンペアを変更したいときは、中部電力に連絡する。ブレーカーの交換だけなら工費は無料。ただし、交換後1年間は再変更できない。

オール電化住宅の場合は、アンペア契約とは料金体系が異なる。また、電気料金の仕組みは、電力会社によって違う。